

Green Hospitality Osaka

趣旨説明

一般社団法人テラプロジェクト 理事長
日本みどりのプロジェクト推進協議会 事務局
大阪大学名誉教授・招聘教授

小林 昭雄

第2回 MIDORI X

Green Hospitality Osaka
シンポジウム

令和3年11月19日

日本みどりのプロジェクト推進協議会(JGP)

みどりのイノベーション推進会議

(公財)大阪観光局 (一社) テラプロジェクト

1

挨拶(来賓挨拶含む)

13:00

13:00~13:10 主催者挨拶 日本みどりのプロジェクト推進協議会副会長
公益財団法人 大阪観光局 理事長 溝畑 宏氏



溝畑 宏氏

日本は周辺に豊かな海洋を配し、緯度経度特性から世界でも珍しい温暖な気候を有しており、明確な四季がある故に、その多様な自然美は世界に誇ることができます。そして、近年その自然美が評価され、多くの観光客を魅了可能な世界有数の観光資源を持つ国として認知され、行ってみたい国、住みたい国の上位にランクされています。2025年、万博では「みどりのショーケース」を設け、伝統的なみどり豊かな暮らしづくり、みどりで生活を豊かにするノウハウを世界に発信して行きたいと思っています。

13:10~13:15 ご来賓挨拶 大阪市 経済戦略局 理事 藤巻 幸嗣氏

13:30

13:15~13:30 趣旨説明
一般社団法人
テラプロジェクト 理事長
小林 昭雄氏



小林 昭雄氏

我が国は、庭園・盆栽・お花・茶の湯などに豊かな自然遺産を生かす工夫を長年培ってきました。みどり豊かな環境下での生活は、コロナ禍で強いられた「巣ごもり」生活の中で、ますますその価値を見出しています。都市や生活域の未利用空間を活用し、植栽を配することでQOL向上を目指すOne Green 活動は、事業展開に多くの福音をもたらします。また、「みどりでおもてなし」文化の浸透は、訪れる方々にみどり豊かな環境の素晴らしさ、我が国の素晴らしさを実感させる効果を有します。

2

基調講演 子どもたちと地域の未来を考える花と緑のまちづくり
~自治体連携で日本の魅力ある都市創りを進める~

13:30

講師:桂川 孝裕氏(亀岡市長)

14:00



3

特別講演 花と緑の感動創造企業から地球環境企業へ
~生活者コミュニティアプリとDXによる花と緑に溢れたまちづくり戦略について~

14:00

講師:株式会社日比谷花壇 代表取締役 宮嶋 浩彰氏

14:30



4

「One Green プロジェクト」のご提案

14:30

挨拶(進行): 一般社団法人テラプロジェクト 理事長 小林 昭雄 氏
 (一社)テラプロジェクトが提案する“One Green プロジェクト”

①「みどりの回廊づくり」

発表者
 (一社)テラプロジェクト専務理事
 峯平 慎哉 氏

②「智の木の森づくり」

発表者
 智の木協会理事長
 寺谷 誠一郎 氏(前鳥取県智頭町長)

③「Green Hospitality Osaka ガイドブック」

発表者
 大阪府立大学大学院 准教授
 岡澤 敦司 氏

15:00



5

One Green提案ならびに取り組み事例発表

15:00

- ① 「OSAKA MIDORI LIFE の実践“うめきた 2期公園”」
 講師: 阪急阪神不動産株式会社 取締役 開発副本部長 谷口 丹彦 氏
- ② 「難波のまちにも花とみどりのおもてなしを~2025大阪関西万博を目指して~」
 講師: 南海電気鉄道株式会社 まち共創本部 グレーターなんば創造部 課長 寺内 雅晃 氏
- ③ 「エリマネで進化するサステナブルな緑のまちづくり ~御堂筋まちづくりネットワーク~」
 講師: 大阪ガス株式会社 エナジーソリューション事業部 部長 三好 正人 氏
- ④ 「事業活動を通じたサステナビリティの実現に向けて~持続可能な地域社会の発展に貢献するために~」
 講師: 日本たばこ産業株式会社 関西リレーション推進部 課長 田上 阿樹人 氏
- ⑤ 「人生100年時代を素敵に生きる~グッドフィーリング(顧客満足)の思想~」
 講師: 日本ロングライフ株式会社 ラビアンローズ緑地公園 支配人 遠藤 真理子 氏



16:15

6

パネルディスカッション 「“みどり溢れるGreen Hospitality Osaka”実現に向けて」
 ~大阪市内都心部における「花と緑を活かしたエリアマネジメント」の実践~

16:20

パネラー: 大阪市(経済戦略局 観光部長 花澤 隆博 氏)
 大阪ガス株式会社(エナジーソリューション事業部 部長 三好 正人 氏)
 南海電気鉄道株式会社(まち共創本部グレーターなんば創造部 課長 寺内 雅晃 氏)

17:25

コーディネータ: 植松 宏之 氏 (流通科学大学 経済学部 教授/全国エリアマネジメントネットワーク副会長)



17:25

閉会挨拶

17:30

- 日本の約550兆円を超えるGDPの内、観光消費額は25兆円、
- 日本と海外マーケットを併せると50兆円程。
- 課題
- 脱炭素社会の実現、Covid-19禍克服、国連の定めるSDGs達成など私どもが直面する課題の解決。
- 「Flow of People」を加速し、直面する負の遺産解消の難題を「みどりでおもてなし文化」を社会浸透することで克服。地方経済の活性化：
(Flow of People, Flow of Money)
- 年間、3千万人超の海外からの訪問者がもつポテンシャルを生かす。(コロナ禍がもたらすnegative effect解消)
- 国際社会で果たすべき役割。持続可能な社会：地球温暖化(脱炭素社会の実現) SDGs COP26 issue.
- 植物のポテンシャルをどのように生かすか？ 21世紀は、Green Goldの時代
- 市民参加を引き出す仕組みづくりの重要性 産業界と同調 (産官学連携)
- Campaign Terms の必要性

官主導：みどりの風邪を感じる大都市大阪 つくり → みどりでおもてなし活動 → みどりでおもてなし文化の浸透
 → 個人の生活の質の向上につなげる (QOL向上) GREEN HOSPITALITY
 OSAKA を好個な事例に！

海外からの訪問者への土産： おもてなし文化 みどりを念頭においた
 オモテナシ！

MIDORI X で創造される多様な業態

そのための仕組みづくりの重要性

日本みどりのプロジェクト推進協議会の設立 (2021年10月)

住民の意向を踏まえた地方自治体の想い と 企業との御連携

活動舞台：プラットフォーム

- 組織図 5大プロジェクト

21世紀はどのような時代 Green Gold の時代

個人の存在を確かめ、個人の生き方を探る → QOL を高める！
SNS の時代の功罪が浮上！

問題点は何か？

SDGs を念頭に如何なる社会実現を達成すべきか？

直面

地球温暖化（脱炭素社会）

少子高齢化

食糧の枯渇



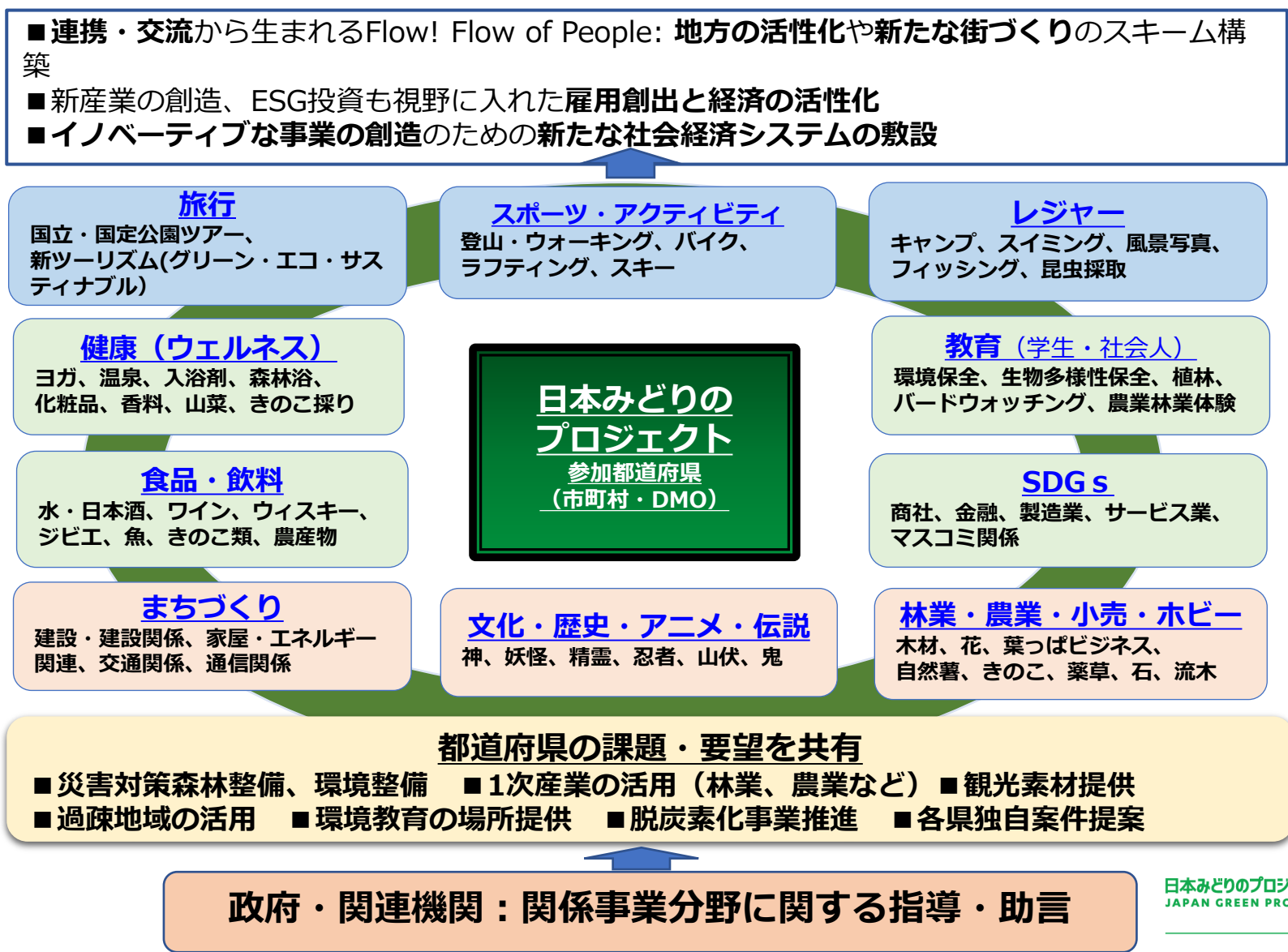
経済の低迷

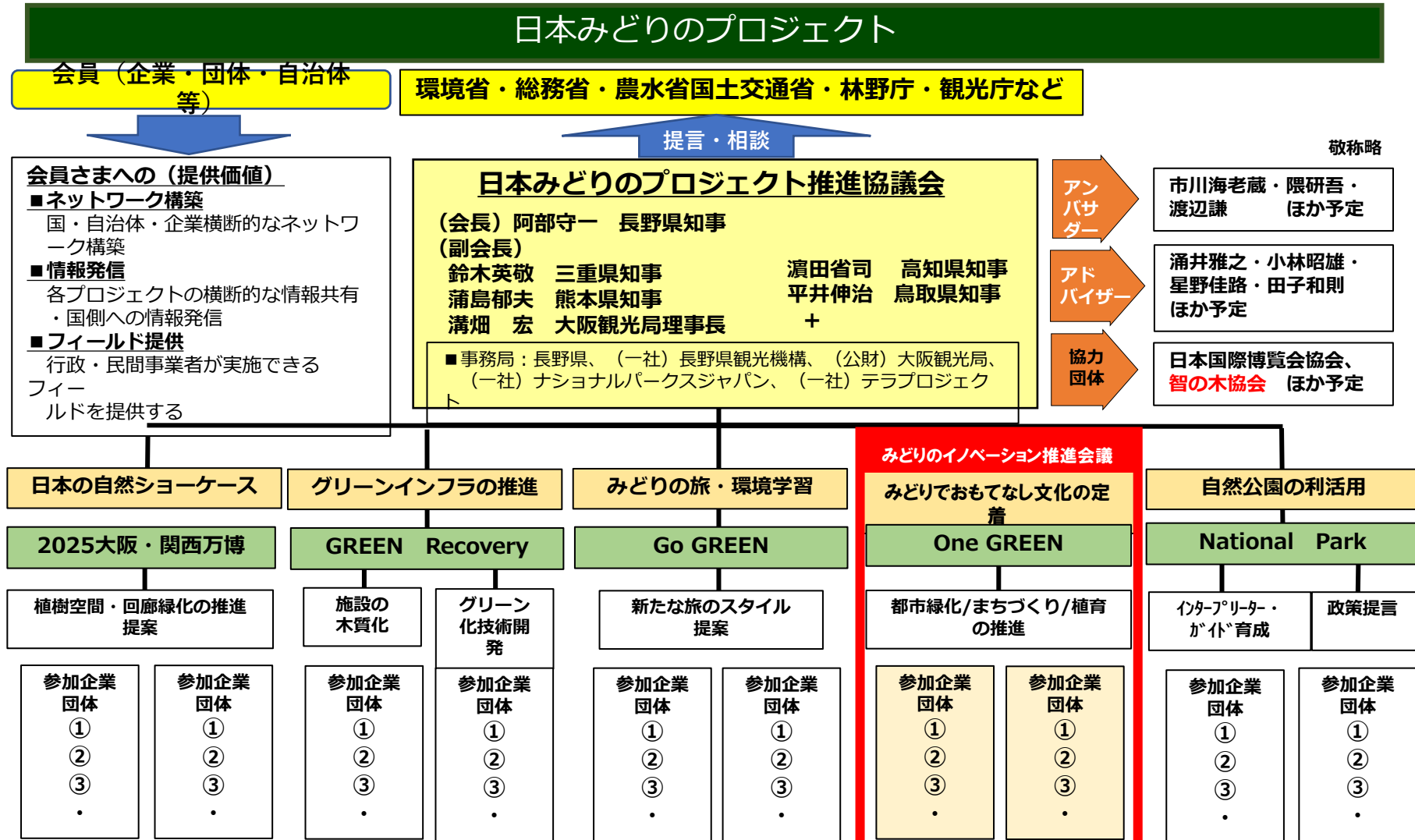
日本みどりのプロジェクト推進協議会設立 （2020年10月）

参画する企業と団体の連携イメージ

(MIDORI X)

X 業態





プロジェクトの企画立案から事業の展開へ



【開催概要】

(公財)大阪観光局と(一社)テラプロジェクトとが共同で一昨年10月に創設した「みどりのイノベーション推進会議」が植・食文化を基調とした“みどりでおもてなし文化”を大阪から世界に発信する「第2回 Green Hospitality Osaka シンポジウム」を開催する。

今回は、「みどりのイノベーション推進会議」をベースに、昨年10月に全国規模で設立された「日本みどりのプロジェクト推進協議会」がメインに進める5つのプロジェクトの一つ「One Green プロジェクト」のメインシンポジウムとして開催する。

< 「日本みどりのプロジェクト推進協議会」 5つの主要プロジェクト > 5 部会

- ① 「2025大阪・関西万博”日本の自然のショーケース”実現プロジェクト」
- ② 「Green Recovery プロジェクト」
- ③ 「One Green プロジェクト」
- ④ 「Go Green プロジェクト」
- ⑤ 「ナショナルパーク プロジェクト」